

山梨県立美術館協議会資料

平成28年2月12日(金)

山梨県立美術館

目 次

	ページ
<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	2
<u>観覧者数の推移</u>	3
<u>施設利用者の状況</u>	4
<u>平成28年度特別展概要</u>	5
<u>教育課程の実施状況及び28年度予定</u>	6
<u>指定管理者活動報告</u>	11
<u>県立文化施設外国人対応拡充事業内容及び進捗状況</u>	14

山梨県立美術館協議会委員名簿

任期:平成26年10月1日～平成28年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	飯野 章	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (南アルプス市教育委員)
"	塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	秋山 弘	ミュージアム甲斐・ネットワーク(美術)代表	学識経験者 (春仙美術館長)
"	鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	古屋 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	手塚 義彦	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	高野孫左エ門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	金丸 康信	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	飯野 奈津子	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	笹本 禮子	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会副会長)
"	矢島 良夫	公募委員	家庭教育関係者
"	長谷川 由希	公募委員	家庭教育関係者
任命	齊藤 文栄	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (笛吹市立一宮北小学校校長)
"	秋山 宏子	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立山梨高等学校長)

山梨県立美術館活動報告（概要） 平成27年度 後期並びに28年度前期

美術館活動における長期目標

○県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。

【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。

【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

平成27年度の活動の状況

【展示／見る】

〈常設展〉

・常に変わらない展示と思われがちな常設展のイメージを一新し、年4回の展示替えごとに、テーマを設けた展示を行い、積極的にアピールする。

秋期展示テーマ「対決」「超絶技巧」「萩原英雄の名品」 9月25日(金)～1月24日(日)

・収蔵品を利用したコレクション企画展「命をめぐる物語」開催中。 ～3月6日(日)

・常設展示室 メンテナンス工事(監視カメラ、壁面塗装) → 特別展示室でミレー作品公開 ～3月6日(日)

・「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施

〈特別展〉

・夜の画家たち 一蠟燭と光のテネブリズム 4月18日(土)～6月14日(日)

・近代風景画の創造 ノルマンディー展 6月27日(土)～8月23日(日)

・ルートヴィヒ・コレクション ピカソ回顧展 9月1日(土)～10月25日(日)

・花の画家たち ルドゥーテのバラ展 11月3日(土)～1月17日(日)

〈新収蔵品〉

・寄贈作品 72点 (11作家) ※別紙 H27 収蔵作品リスト参照

・新収蔵品展 3月26日(土)～4月10日(日) 約35点出品

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者、障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校と連携して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

〈活動内容〉

・キッズプログラム(小中高校生対応) ・校外学習対応として展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験活動

・学校への出前授業 ・アートボックス、アートカード貸出し ・造形広場 ・創作教室

・みんなで作る美術館(みなび展)の実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座

・ことぶき勸学院への協力(総務課対応) ・ギャラリー・トーク ・映画会

・美術体験・実技講座(初心者・障がい者含む)

【付加価値・魅力／憩う】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

〈質の高いサービス提供〉

・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

〈様々な付加価値の創造〉

・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。

(ゴールデンウィーク期間中は毎日開催)(SPS)

・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。

・ミュージアム甲斐 in 券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。

・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。(SPS)

・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝貢川アートフェスタ後援

〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉

・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。

・展示会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。

・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

〈外国人対応拡充事業〉

・「地域住民生活緊急支援のための交付金」を活用。館内サイン計画、HPリニューアル、収蔵品アーカイブス、案内印刷物、デジタルサイネージ、ガイダンスDVD などの見直しと拡充。

中期目標と平成28年度の具体的活動予定

1. 山梨の美術を再検証し、郷土関係作家を紹介する展覧会を企画する。

2. 様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。

3. アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。

・広報活動の強化。・観光部とのタイアップ。

【展示／見る】

・開催趣旨と目標(集客、研究、人気もの etc)を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくなるような常設企画の魅力ある展示のあらたな創出を図る。

〈常設展〉従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。

・常設展示室の名称変更 → コレクション展

ミレー館・テーマ展示室・萩原記念室を使った年4回の展示替えを実施。

・テーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるような工夫や配慮し、積極的に広報する。(特にテーマ展示室)

〈特別展〉 ※別紙 H28 特別展概要参照

・ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ展 4月23日(土)～6月12日(日)

・美し、やまなし、パワー! 山梨の女性アーティストたち 6月25日(土)～8月21日(日)

・国立美術館巡回展(仮称) 9月3日(土)～10月10日(月・祝)

・フランスの風景 ～樹をめぐる物語 10月22日(土)～12月11日(日)

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。

・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。

・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。

・学校と連携して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

〈活動内容〉

「学校・社会教育施設との連携強化(博学連携)」

・キッズプログラム(小中高校生対応) ・子ども美術館 ・映画会 ・職場体験授業

・校外学習への対応(オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験) ・ギャラリートーク

・学校への出前授業 ・アートボックス貸出

・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなで作る美術館(みなび) ・教師のための鑑賞研究会

・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座(初心者・障がい者含む) ・ギャラリートーク

・県民ギャラリー利用者への活動PR支援・ことぶき勸学院への協力 ・アート・カードの貸し出し

「地域との連携強化」

・美術館周辺校との連携(新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施)。

【付加価値・魅力／憩う】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア(案内、解説、情報 etc.)のスキルアップに務める。

・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。

・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。

・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。

・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。

・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

▶▶▶▶▶▶ これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	266	89,404	96,582	185,986
計	11,139	9,437,296	3,579,782	13,017,078

平成27年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,052
5	27	7,935
6	25	7,184
7	28	6,340
8	29	10,766
9	26	12,610
10	28	16,992
11	27	12,595
12	24	3,824
1	26	5,106
2		
3		
計	266	89,404

前年比 69.1%

特別展・新収蔵品展等 (H27年1月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
H26新収蔵品展	11	2,515
夜の画家たち	50	12,348
ノルマンディー展	53	14,791
ピカソ展	49	45,331
ルドゥーテのバラ展	63	20,608
コレクション企画展 命をめぐる物語	36	989
H27新収蔵品展	5	
	267	96,582

平成26年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	27	8,168
5	27	8,373
6	25	8,118
7	27	11,840
8	29	60,653
9	25	6,688
10	29	8,205
11	27	9,614
12	22	3,245
1	26	4,450
2	24	4,157
3	20	3,805
年度計	308	137,316

1月まで計	264	129,354
-------	-----	---------

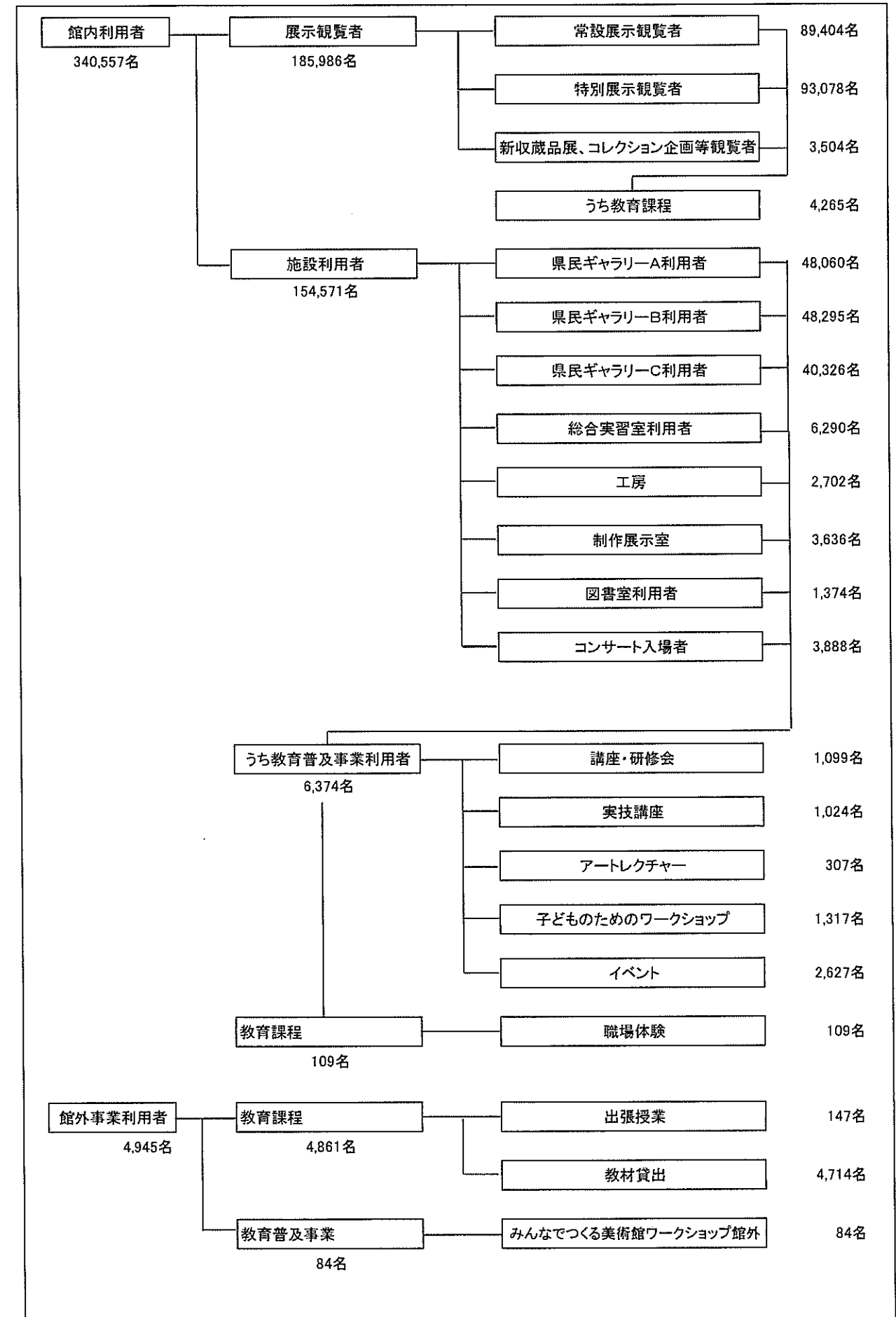
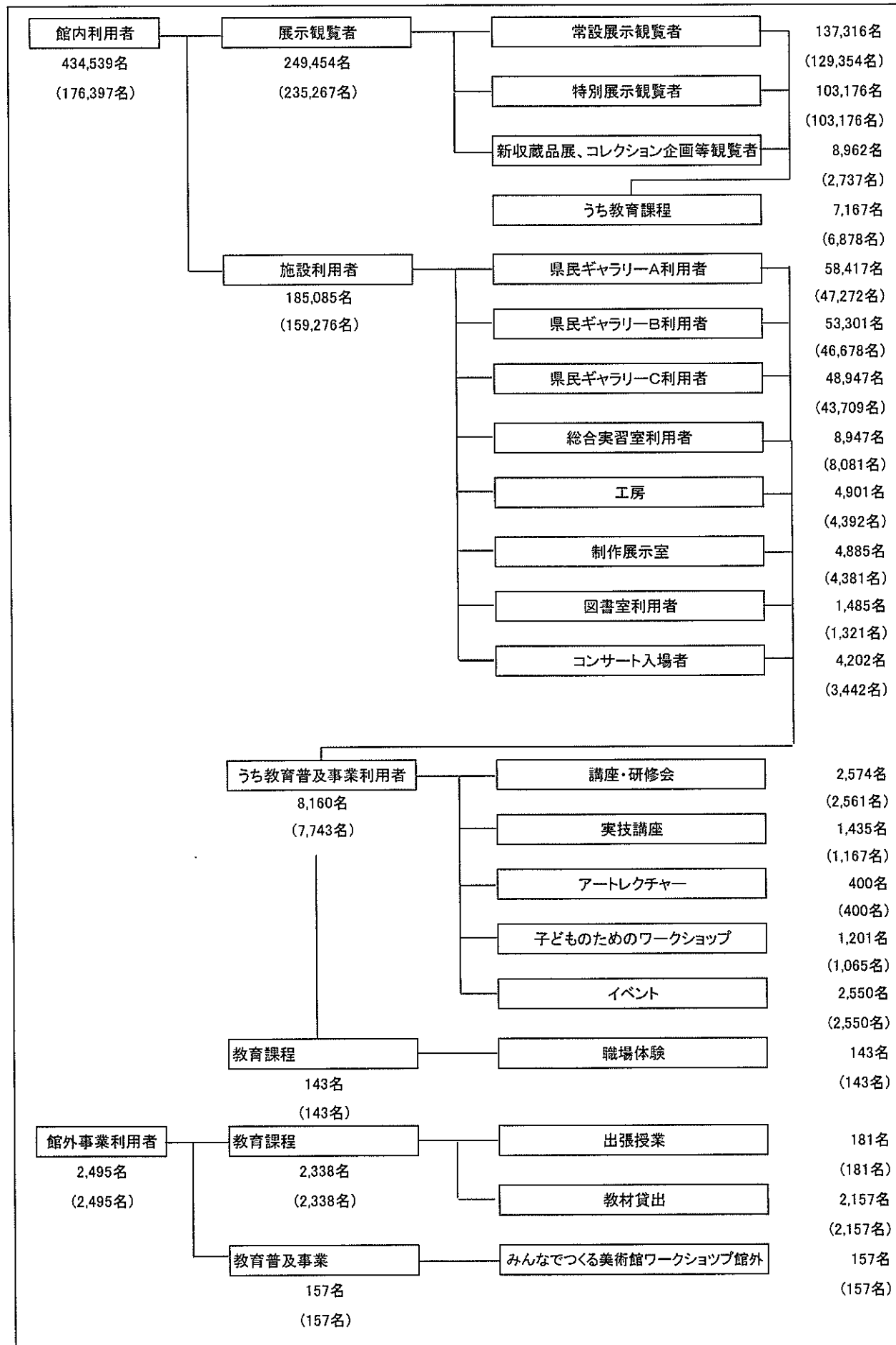
特別展・新収蔵品展等 (H26年度)

展覧会名	開催日数	観覧者数
H25新収蔵品展	12	2,564
キネティックアート展	45	11,269
生誕200年 ミレー展	40	72,437
やまなしの戦後美術展	41	5,511
佐伯祐三とパリ展	52	13,959
コレクション企画展 山梨の魅力	26	4,720
H26新収蔵品展	9	1,678
	225	112,138

美術館における「利用者」の状況

平成26年度実績。()は1月末現在

平成28年1月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

山梨県立美術館特別展概要

H27(2015)年度

H28(2016)年度

名称	夜の画家たち — 蝋燭の光とテネブリスム —	印象派の故郷 ノルマンディー展 ～近代風景画のはじまり～	ルートヴィヒ・ コレクション ピカソ展	花の画家 ルドゥーテのバラ展	ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ展	美し、やまなし、パワー! 山梨の 女性アーティストたち	国立美術館巡回展 (仮称)	フランスの風景 ～樹をめぐる物語～
会期	2015年4月18日(土) ～6月14日(日)	2015年6月27日(土) ～8月23日(日)	2015年9月1日(火) ～10月25日(日)	2015年11月3日(火) ～2016年1月17日(日)	2016年4月23日(土) ～6月12日(日)	2016年6月25日(土) ～8月21日(日)	2016年9月3日(土) ～10月10日(月・祝)	2016年10月22日(土) ～2016年12月11日(日)
展示内容	西洋の絵画技法に、光や炎によって夜や闇の中に劇的に対象を浮かび上がらせるテネブリスム(明暗主義)がある。この技法は近代の日本人画家を魅了し、匝啓堂田善、高橋由一から高島野十郎まで、独自の明暗表現を手がける日本の「夜の画家」たちが出現した。 本展では、近代日本の闇と光の世界を、フランスの巨匠ラ・トゥールの作品などとも対比させながら明らかにした。	フランス北部ノルマンディーはフランスで最も人気のある保養地の一つで、19世紀初頭、英仏のロマン主義の画家たちによって、風光明媚なこの地の古い町並みや遺跡が描かれるようになった。その後、移ろいゆく光の表情や、余暇を楽しむ近代生活の情景を描いた印象派のふるさととなった。 本展では、近代風景画の発展に寄与したノルマンディーの役割を、アンドレ・マルロー美術館を始め、国内外の所蔵作品により検証した。	ピカソは、油彩の他に素描、水彩、版画、陶芸などを手がけ、様々な表現手法を試みた。 ドイツ・ケルンにあるルートヴィヒ美術館は、ルートヴィヒ夫妻が1950年頃から収集したピカソ作品約7200点の寄贈によって設立した。本展では、ルートヴィヒ美術館のコレクションから、ピカソの初期から晩年までの油彩、版画、陶器等を展示する。また、マン・レイやロバート・キャパなど有名写真家たちによるピカソのポートレートも出展した。	ベルギー出身のルドゥーテは、フランス王妃マリー・アントワネットやナポレオンの皇妃ジョゼフィーヌ付きの植物画家として重用された。ルドゥーテはスティップル・エンブレヴィングの超絶技巧によって、花卉の一枚一枚まで正確に且つ柔和に表現し、「花のラファエロ」とも称えられた。 本展は、「ボタニカル・アート」の金字塔として現在も多くの人々を魅了し続けている、ルドゥーテの代表作『バラ図譜』全点を紹介した。	“神のごとき”芸術家と讃えられたミケランジェロは、『ピエタ』や『ダヴィデ』など、石の塊から造形を彫り出した彫刻家であり、システーナ礼拝堂に『創世記』や『最後の審判』など壮大な物語を描いた画家であり、『サン・ピエトロ大聖堂』の造営などを手がけた建築家でもあった。カーサ・ブオナローティ財団所蔵の素描や建築設計図面、書簡などによって、彼の創造の軌跡や制作過程をくまなく紹介する。ルネサンス期の最高峰の芸術を山梨で紹介するまたとない機会となる。	山梨の戦後芸術を紹介する展覧会。山梨ゆかりの女性作家に焦点を当て、「山梨の芸術」の魅力新たな切り口で紹介する。 明治期の野口小蘆や、大正～昭和期の埴原久和代、そして現在に至るまで、本県には時代を先取した優れた女性作家が多数存在してきたが、時代背景や社会通念、あるいは作家自身を取り巻く環境など、様々な原因によって、紹介される機会が乏しかったのではないかと考えられる。山梨の芸術環境の未来を拓く新しい視点を持った展覧会となることを目標とする。	国立美術館所蔵作品を活用して国民の鑑賞機会の充実を図り、地域文化の振興に資するために実施される「国立美術館巡回展」。今回は京都国立近代美術館を中心とした国立美術館の所蔵する選りすぐりの作品を紹介する。絵画では竹内栖鳳、上村松園などの日本画と、安井曾太郎らの洋画。工芸では、清水六兵衛や北大路魯山人らの陶芸、志村ふくみらの染織、さらには漆工芸、竹工、金工など、京都を中心に活躍し、近代を代表する美術家たちの作品を一堂に会する好機となる。	「樹木」というモチーフを通して、モネら印象派の画家たちと、ドービニーやマティスなどその前後の時代の画家による作品を核に、19世紀から20世紀に至るフランスの風景画の変遷を辿る。フランスなど国外所蔵作品と、国内所蔵作品、計約110点を展覧する。 印象派に至る風景画の展開として、充実したバルビゾン派の章を設定している。様式の変遷のみならず、自然と人間の関係性に関する考察を含む内容のため、幅広い層の興味関心を引くことが期待できる。
画像								
キャプション	ジョルジュ・ド・ラ・トゥール 《煙草を吸う男》1646年 東京富士美術館	ギュスターヴ・クールベ 《海景、風》	パブロ・ピカソ 《読書する女の頭部》1953年	ジョゼフ・ルドゥーテ 『バラ図譜』より 《ロサ・ダマスカエナ》	《システーナ礼拝堂天井画 クマエの巫女のための習作》 1509-10年 トリノ王立図書館	松田百合子《トルソー》 1991年	竹内栖鳳《秋興》部分 1927年 京都国立近代美術館	クロード・モネ 《ヴェトウイユの河岸、 夕の効果》1880年頃

教育課程の実施状況

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考（学習形態、体験内容など）
								ミレー 常設	特別	職場	実技			
10 23	甲府	高		○	星差国際高等学校	10	1					○	○	オリエンテーション
10 23	県外	高		○	富士見高等学校	26	2					○		オリエンテーション
9 4	甲府	高	3	○	甲斐清和高校	30	2					○	○	オリエンテーション後自主見学
10 14	東山	高	1	○	塩山高校	172	18	○	○			○	○	解説、オリエンテーション
10 15	甲府	高		○	甲斐清和高校	32	3	○	○			○	○	解説、オリエンテーション
10 15	中巨	高			わかば支援学校 高等部	31	2	○	○			○	○	解説
10 16	甲府	高	1	○	甲府城西高校	280	16	○	○			○	○	オリエンテーション
12 2	甲府	高	1	○	星差国際高等学校	32	2					○		一斉 解説
10 6	北巨	小	6	○	長坂小	71	2	○	○		○	○	○	解説、創作
10 7	南巨	小		○	西島小+原小	10	4	○				○	○	解説
10 7	甲府	小	4	○	学院小	33	2		○			○	○	解説、オリエンテーション
10 8	中巨	小	2	○	若草南小	58	4	○	○			○	○	解説
11 2	中巨	小	5	○	常永小	64	4							創作活動
9 4	甲府	小	6	○	大國小	108	7	○	○	○		○	○	解説
9 16	甲府	小	4	○	山梨学院小	33	2		○			○	○	オリエンテーション後自主見学
9 18	甲府	小	4	○	山梨学院小	33	2		○			○	○	オリエンテーション後自主見学
9 25	甲府	小	5	○	山梨学院小	63	3		○			○	○	オリエンテーション後自主見学
9 30	甲府	小	3	○	池田小	89	4	○	○			○	○	解説、オリエンテーション
10 8	甲府	小	6	○	学院小	56	3		○			○	○	解説、オリエンテーション
10 9	甲府	小	6	○	新田小	29	2	○	○			○	○	解説、オリエンテーション
10 20	甲府	小	4	○	池田小	87	5	○	○			○	○	解説、オリエンテーション
10 21	北巨	小	5	○	高根北小	9	2	○	○		○	○	○	解説、創作
10 22	東山	小	1~2	○	三富士小	10	3	○	○			○	○	解説、創作
10 28	甲府	小		○	甲府支援	4	5				○			創作活動
11 4	甲府	小	5		新田小	22	2	○	○		○	○	○	一斉 解説 実技
11 5	甲府	小	1		甲府支援	3	4							自主見学
11 11	南巨	小	5		六郷、市川小	30	3							一斉 解説
11 19	甲府	小	4		新田小	21	2							一斉 解説
12 4	甲府	小	2	○	池田小	86	5	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
12 10	甲府	小	3	○	新田小	30	2	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
12 17	甲府	小	2	○	新田小	23	2	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
12 18	甲府	小	3	○	新田小	28	2	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
12 22	甲府	小	5	○	池田小	88	5	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
12 24	甲府	小	6	○	新田小	29	5	○				○	○	一斉 解説 実技
1 20	甲府	小	6	○	新田小	29	3	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
1 21	甲府	小	2	○	新田小	23	2	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
1 28	甲府	小	6	○	新田小	29	3	○	○			○	○	一斉 解説
1 28	甲府	小	5	○	新田小	22	2	○	○			○	○	一斉 解説
1 28	甲府	小	4	○	新田小	21	2	○	○			○	○	一斉 解説
1 29	甲府	小	1	○	新田小	28	2	○	○	○	○	○	○	一斉 解説 実技
9 29	甲府	他		○	かほる保育園	106	12	○	○			○	○	オリエンテーション後自主見学
10 14	南都	他		○	都留こすもす教室	5	2	○	○		○	○	○	解説、創作
10 16	甲府	他		○	立正光生園	16	3	○	○		○	○	○	解説、創作
9 10	中巨	中		○	子どもの村中	15	2		○			○	○	オリエンテーション後自主見学
10 17	中巨	中		○	柳形中	5	2							自主見学
10 24	中巨	中		○	押原中美術部	25	2	○	○			○	○	解説、オリエンテーション
11 6	甲府	中	1~3		南西中	13	2			○				自主見学
11 9	甲府	中	1		学院中	83	7							自主見学
11 10	南巨	中			市川中	70								自主見学
11 18	甲府	中	1		甲府東中	24	1			○				一斉 解説
12 11	甲府	中	3	○	甲府支援学校	2	2				○		○	一斉 解説

	校数	生徒数	引率数
小学校	32	1269	100
中学校	8	237	18
高校	8	613	46
その他	3	127	17
計	51	2246	181

平成27年度 キッズ・プログラム

～ 特別展を中心とした、小・中・高校生が楽しめる内容のプログラムです ～

プログラム名	開催日時	イベント内容 (□は特別展名)	対象	申込期間
⑥ とも美術館 「ミツバチになって バラ園を飛んでみよう」 	11月28日(土) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00	□ 花の画家 ルドゥーテのバラ展 ルドゥーテ作品の技法を体験 したり、作品を鑑賞したりし ます。 	小学生 低学年 (1～3年生) は保護者同伴	10月28日 11月27日 午後5時まで
⑦ とも美術館 「命をめぐる物語」を 探検しよう	2016年 1月30日(土) ①午前10:00～11:00 ②午後1:30～2:30	□ コレクション企画展 「命をめぐる物語」 日本の戦後70年を振り返りな がら“生と死”“愛と祈り”“戦争 と画家”といった人間を取り巻 く命の根源について画家たちの 思いに迫りながら鑑賞します。	小学生 低学年 (1～3年生) は保護者同伴	1月5日 1月24日 午後5時まで

※「とも美術館」は鑑賞イベントです

プログラムの内容・日程は予告なく変更になることがあります。
 詳細は最新の館内チラシでご確認ください。

各プログラムは申し込みが必要です。対象学年をご確認の上、お申し込みください

申し込み方法：電話またはFAXでお申し込みください。
 希望コース名・氏名(ふりがな)・学年・電話番号(FAXがある方はFAX番号)
 ・付き添いの保護者の人数をお知らせください。
 (申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

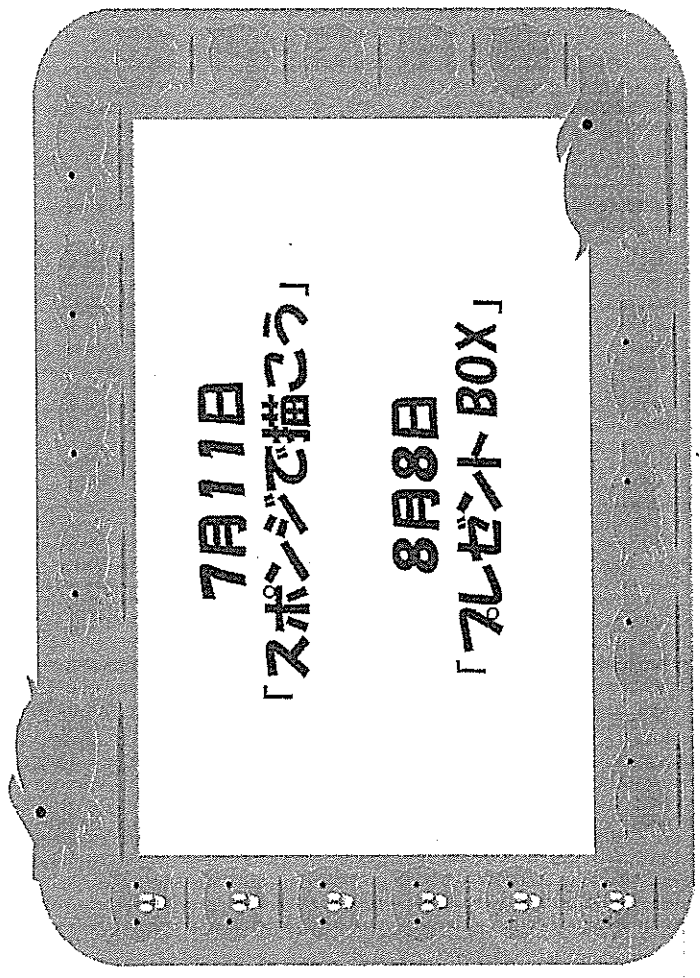
問い合わせ・申し込み先
山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係
 Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324
 (電話受付時間：開館日9:00～17:00)

山梨県立美術館

つくろう！あそぼう！
造形広場

申込不要
 参加無料

協力：山梨学院短期大学 伊藤美輝氏・学生



時間 午後1:30～3:30 開始時間までにきてね！
 場所 山梨県立美術館 7-ワークショップ室
 (10月10日のみ山梨学院短期大学で行います)
 対象 幼児・小学生(先着100名程度)

つくろう！あそぼう！
造形広場

～ これからの予定 ～

8月29日 「ヘッドドレス」
 10月10日 「山梨学院スペシャル 組み込み動物」
 (会場：山梨学院短期大学)
 11月7日 「イーゼルで描こう」
 12月12日 「ポップアップクリスマスツリー」
 1月9日 「凧をつくろう、凧をとばそう」
 2月13日 「かさねて見る絵」
 3月5日 「箱であそぼう 箱の中の世界」

※内容は変更になることもありませす※

家族で美術館を楽しむ日

11月3日は美術館の誕生日

ミレー館に展示されている作品を家族で鑑賞し、対話をする事で、
絵画の楽しみ方を学びます。鑑賞のコツや、知っているとちょっと
自慢できることなど、館のスタッフがレクチャーします。

日時 / 11月3日(火・祝) ①午前 10:00 ~ 11:00
②午後 1:30 ~ 2:30

開始 10 分前までにお集まりください

対象 / 小学生とその家族(各回 30 名程度)

参加者には探検手帳をプレゼント。すでに手帳を持っている人は忘れずに持ってきてください。



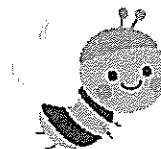
● 申込方法: 電話または FAX にてお申し込みください
参加希望コース名(午前/午後)・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・電話番号
(FAX 番号)・参加される方全員の氏名 を必ずお伝えください。

● 申込先: 山梨県立美術館「こども美術館」係
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

● 申込期間: 10月3日~11月2日

ミツバチになってバラ園を飛んでみよう

ルドゥーテ作品の技法を体験したり、作品を鑑賞したりします



11月28日(土)

① 10:00 ~ 11:30 ② 13:30 ~ 15:00

開始 10 分前までにはお集まりください

対象 小学生(低学年は保護者同伴)

定員 各回 20 名程度

場所 ワークショップ室・特別展示室

申込期間 10月28日~11月27日



申し込み方法: 電話または FAX でお申し込みください

希望コース名・氏名(ふりがな)・学年・電話番号(FAXがある方は FAX 番号)
・付き添いの人数をお知らせください。

(申し込みされた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

問い合わせ・申し込み先

山梨県立美術館「こども美術館」係

Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

(電話受付時間: 開館日 9:00 ~ 17:00)

創作教室

「フォトフレーム」をつくらう

ダンボールでフォトフレームを作り、季節を意識した飾りつけをします。

12月19日(土) 午後1時30分～3時30分

※開始 10 分前までにお集まりください

講師 三井正人 氏

(彫刻家、帝京学園短期大学教授)

帝京学園短期大学学生

◆対象 / 小学生以上

※小学1～3年生は保護者がお手伝いください。
(保護者も制作できます)

◆定員 / 30名程度

◆場所 / ワークショップ室

●申込方法：電話または FAX にてお申し込みください
制作をする人の氏名(ふりがな)、学年、電話番号(FAX 番号)
付き添いの保護者の人数を必ずお伝えください。

●申込期間：11月19日～12月18日

●申込先：山梨県立美術館「創作教室」係

TEL：055-228-3322 FAX：055-228-3324

山梨県立美術館

こども美術館①

コレクション企画展「命をめぐる物語」

「命をめぐる物語」を探検しよう

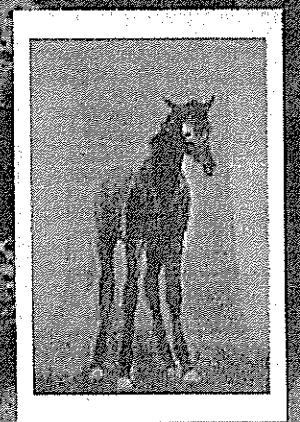
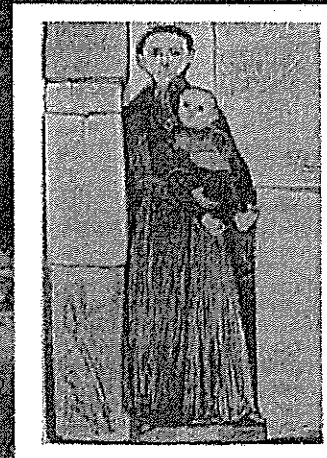
日本の戦後70年を振り返りながら“生と死”“愛と祈り”“戦争と画家”といった人間を取り巻く命の根源について、画家たちの思いに迫りながら鑑賞します

1月30日(土) ①午前10:00～11:00
②午後1:30～2:30

開始10分前までにお集まりください

対象 / 小学生(1～3年生は保護者同伴)

定員 / 各回15名



●申し込み方法：電話または FAX でお申し込みください。
希望コース名・氏名(ふりがな)・学年・電話番号(FAX がある方は FAX 番号)・
付き添いの人数をお知らせください。
(申し込まれた方の個人情報は本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

●申し込み期間：1月5日～1月24日

問い合わせ・申し込み先 山梨県立美術館「こども美術館」係
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324
(電話受付時間：開館日 9:00～17:00)

山梨県立美術館

創作教室

「ブーケづくり」

紙でお花を作ってブーケをつくります

3月6日(日) 午後1時30分～3時30分

※開始 10 分前までにお集まりください

講師 三井正人氏

(彫刻家、帝京学園短期大学教授)

帝京学園短期大学学生

◆対象 / 小学生以上

※小学1～3年生は保護者がお手伝いください。

(保護者も制作できます)

◆定員 / 30名程度

◆場所 / ワークショップ室

- 申込方法：電話または FAX にてお申し込みください
制作をする人の氏名（ふりがな）、学年、電話番号（FAX 番号）
付き添いの保護者の人数を必ずお伝えください。
- 申込期間：2月6日～3月5日
- 申込先：山梨県立美術館「創作教室」係
TEL：055-228-3322 FAX：055-228-3324

山梨県立美術館

平成28年度 教育普及 主な予定

月	予定	月	予定
4	WSポラ打ち合わせ みなび委員委嘱式・第1回実行委員会 実技講座 オープンアトリエ①前期 実技講座 石彫 芝田 実技講座 木版画(初心者) 映画会	9	オープンアトリエ②前期(版画) 実技講座 シルク(初心者) 教師のための鑑賞研究会 博物館実習 造形広場 こども美術館 実技講座 シルク 天野
	5		実技講座 シルク 天野 オープンアトリエ②後期(版画) 造形広場 教師のための鑑賞研究会(アートカード)
6	実技講座 石彫 芝田 実技講座 オープンアトリエ①前期 造形広場 教師のための鑑賞研究会 実技講座 木版 河内 こども美術館 映画会 講演会	11	家族で美術館を楽しむ日 実技講座 日本画(初心者) 目黒 造形広場 実技講座 日本画 目黒 こども美術館 映画会(?) 博学連携 教職員初任者研修 館長トーク
	7		造形広場 映画会 障がい者のためのWS(みなび) 教師のための鑑賞研究会(アートカード)
7	こども美術館 造形広場 みなびWS みなび展 職場体験	12	造形広場 講演会(?) 実技講座 油彩 伊藤
	8		造形広場 実技講座 油彩 伊藤 実技講座 オープンアトリエ③ 教師のために鑑賞研究会
8	みなび展 みなびWS 職場体験 造形広場 教師のための鑑賞研究会(センターとの共催) 夏休みWS 中高生のためのWS(予定) オープンアトリエ②前期(版画)	1	造形広場 実技講座 オープンアトリエ 造形広場 こども美術館 講演会(?) 実技講座 現代美術
	9		障がい者のためのWS 造形広場 創作教室(未定)

講師の都合で変更になることがあります
創作教室は未定のため一部しか記載してありません(数回開催予定)
おおよその予定で記載してあるので変更があります

平成27年度 下半期美術館協議会

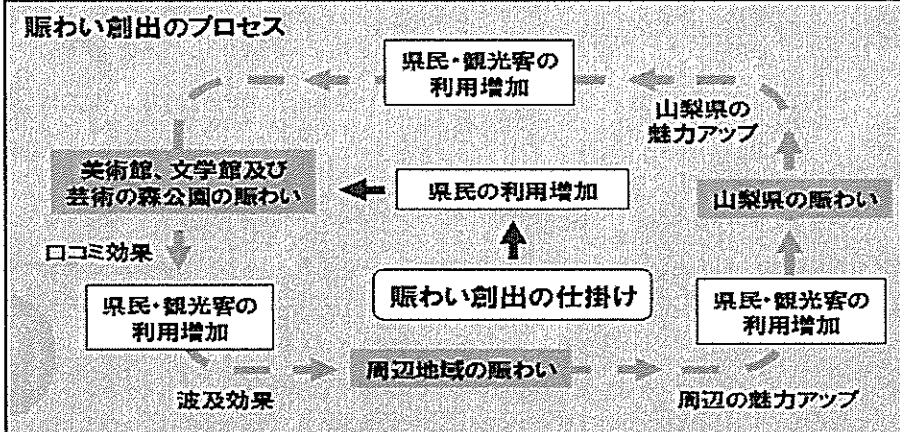
山梨県立美術館指定管理者
株式会社SPSやまなし

目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
 - ・ 関係各所との連携
 - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
 - ・ スタッフ全体研修
4. 基盤整備
 - ・ バラ園の管理/消火設備点検
5. 2016年度予定している活動

美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設



指定管理者活動トピックス 【2-1】関係各所との連携

来館者45,331名

ピカソ展実行委員会に委員として参加。テレビ山梨のスポットCMをゴールデンタイムに22本放送、FM-FUJI220回放送など広報活動に注力した。またJR東海との連携により主要駅での掲載が実現。来館者誘致に繋げることができた。



JR東海 静岡県～山梨県 主要19駅
ポスター掲示 各駅2枚 B1サイズポ
スター



JR東海道線、JR身延線中刷り広告 400枚

指定管理者活動トピックス
【2-2】関係各所との連携

読売新聞首都圏版(10/10)に展覧会
広報を掲出。今年度は「ピカソ展」・「俳
句百景展」を紹介。翌日には2千名弱の
お客様をお迎えするなど、展覧会後半の
集客に繋がった。



「チケットぴあ」のポイント交換商品と
して、美術館特別展「ルドゥーテ展」
の招待券を提供。「ピカソ展」の結果
が好評であった事を受け、先方から
継続依頼をされたもの。



指定管理者活動トピックス
【2-3】広報イベントの開催

被災地支援の目的で、芸術の森公園内にあるどんぐりを植えつけ、津波被災地
や土砂崩れなど自然災害のあった所へ送るイベントを開催。当日は92名の親子
連れが参加し、楽しみながらも活動の目的をしっかりと理解していただいた。



協力:
NPO法人森人プロジェクト
JR東労組
クリエイティブルーム

取材:
新聞2社、テレビ1社

指定管理者活動トピックス
【2-4】広報イベントの開催

以前実施した美術館主催のクラフト系マルシェの再開を望む声が、来館者・職員から
も多く挙がっていたこともあり、「芸術の森公園の賑わいの創出」に繋げるべく飲食ブース
の出店も加えた形で地元フリーペーパー「チユスマ」と共同開催！山梨県内の出店者約
60店を集め指定管理主催のイベントを開催した。

《ミューゼ・マルシェ内容詳細》
11/7(土),8(日)10:00~16:00(日没)
◆美術館関係者によるクラフトブース
◆ワークショップブース◆物販ブース◆飲食ブース

雨でも盛況!!
テレビ取材あり

7日(土):5,000名
8日(土):2,500名
※小雨決行

ルドゥーテのバラ展に
関連して出店

指定管理者活動トピックス
【3-1】ホスピタリティデザインの構築

スタッフ全員参加での研修を実施(12/14)。お客様の気持ちにより沿うサービ
スに繋がるよう、それぞれがお客様の気持ちになって考える時間とした。また、外
部講師によるマナー研修を行い、第一印象の大切さやお声がけのポイントを学ん
だ。

お客様の気持ち
になろう!

まずは素敵な
笑顔から!

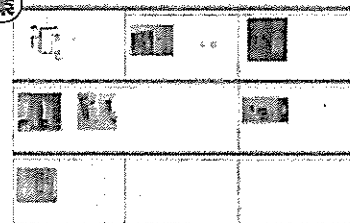
指定管理者活動トピックス
【4-1】 基盤整備 外国人対応拡充事業進捗

●国の創生交付金を活用した外国人向けの案内システムを構築

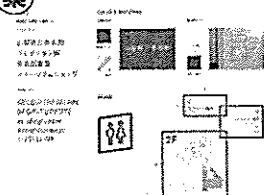
【具体的な内容】

- ・館内標識の改修
- ・チラシ・パンフレット類の作成、
- ・美術館、文学館HPのリニューアル
- ・音声ガイド・デジタルサイネージの導入
- ・WiFiの設置 など

案



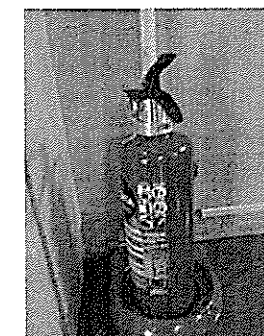
案



指定管理者活動トピックス
【4-2】 基盤整備 安全・サービス

美術館富士見の窓から見える景色が遮られる状態となっていたため、植栽の臨時剪定を実施。公園から見える富士山を楽しんでいただけるよう整備した。

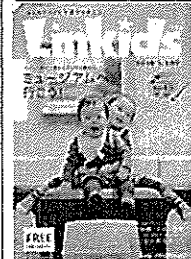
消火器の規格省令の改正に伴い、館内の消火器を一部交換。消化薬剤の期限切れ対応(詰め替え)を実施し、防火対策を講じた。



消火器交換(美:31本、文:9本)
薬剤入れ替え(美:38本、文:25本)

指定管理者活動トピックス
【5】 来期予定している活動

ファミリーミュージアム
(2016年実施予定)



子育て支援の一環として実施。
ファミリー層の誘致に繋げたい。

2016年2月5日(金)10:00~12:00

レストラン実施

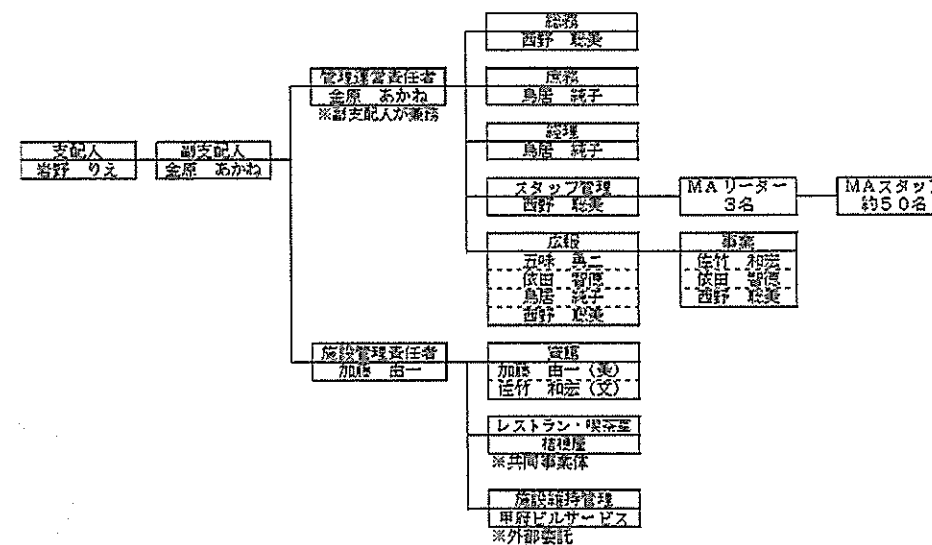
夏祭り
(夏開催予定)

Musee Marche
(秋開催予定)

ヴァンフォーレ甲府
合同イベント
(開催予定)

ミケランジェロ展はじめ、各展示会と連携した活動を実施していく

平成27年度指定管理者
組織体制



県立文化施設外国人対応拡充事業内容及び進捗状況

項目	内容	多言語化
外国語表記パンフレットの整備	サイズ：A4 1/3 8観音開き 各言語毎に1000部作成	英語、中国語（2種類）、韓国語、フランス語
施設案内の外国語表示	美術館106箇所、芸術の森公園20箇所	英語、ピクトグラム（案内内容を図案化）
大型ディスプレイ等による館内案内機器の設置	①デジタルサイネージ（催事案内） ・エントランスホール1箇所 42インチフルHD ・入り口（風除室）1箇所 55インチフルHD ②デジタルサイネージタッチパネル（館内案内） ・エントランスホール 1箇所 42インチフルHD	英語
ホームページのリニューアル（多言語対応）	①新規ホームページの作成 ②スマートフォン用サイトの新規作成 ③収蔵作品検索システム	英語、中国語（2種類）、韓国語、フランス語 ※収蔵品検索システムは英語のみ
美術館の概要を紹介したDVDの多言語版の作成	<制作作品内容> ①美術館施設について ②展示室について ③「手でみるミレー」について ④彫刻の森公園について ⑤その他施設について ⑥ボランティアスタッフについて	ナレーション；日本語 字幕；日本語、英語
Wi-Fi環境の整備	ロビー等（展示室以外）の館内へのWi-Fi環境の整備	

- ・平成27年5～11月：上記各項目の製造等に関する基本設計を実施
- ・平成27年11～12月：上記各項目毎に基本設計完成後に製造等業者との委託契約を締結